

令和4年度

運営に関する計画

大阪市立長吉小学校

令和4年4月19日

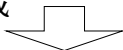
(様式1)

大阪市立長吉小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

【校訓】 正しく 強く 仲よく

【本校の教育目標】

地域の伝統をふまえ、規律ある学校生活を送り、互いに学び合い、
高め合うことができる子どもの育成



重点目標 自分で考え、自分から動く子どもの育成

自分も他人も大切にする子どもの育成

こつこつ継続して取り組む子どもの育成

※ なかよし ながよし

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

昨年度末の取組内容ではすべてB評価であった。コロナ禍により全教職員参加の会議や研修が開けなかったり、校外活動など児童の活動に制限をかけざるを得なかったりしたことが少なからず要因につながっている。その中でも児童へのいじめアンケートを毎月実施し、書かれていた内容について担任が聞き取りをし、即対応をしてきた。保護者からの相談にも丁寧に応じるようにし、個別に聞き取りや指導を行ってきた。これらにより、いじめの早期発見・早期解決につながったと言える。

また各学年の課題を生活指導部や人権教育部の部会で共通理解を図り、チームとして課題解決ができるようにしてきた。さらに生活・総合的な学習の時間を研究教科として研究を進めてきたことで、協働的に取り組むことの良さを児童が実感し、「クラスの人と力を合わせて係や当番の仕事をしている」と回答した児童の割合は目標値に近い数値となった。

今年度もさらに取り組みを強化し家庭や地域とも協力しながら、児童の規範意識を高めるとともに、児童が安心して成長できるような環境づくりに努めたい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

学習内容の充実を図ったり、指導力の向上に努めたりした結果「国語や算数の学習に進んでいますか」の問いに81%以上の児童が肯定的に回答した。「大阪市小学校学力経年調査」の結果の標準化得点を見ると、大阪市平均を上回る学年もあるが、全体的に少しずつ減少してきている。

さらに「大阪市小学校学力経年調査」における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について肯定的に答える児童の割合についても毎年減少している。

いずれの教科においても「主体的・対話的で深い学び」を追究し、基礎基本の定着を図り、より確かな学力が身につくよう早急に研究を進めなければならない。

さらに「早寝、早起き、朝ごはん」を今後も推進し、感染予防対策を含め自分自身の健康についても考えさせていきたい。

【学びを支える教育環境の充実】

コロナ禍による影響のため、昨年度も臨時休校などの措置をとった。そのような中で児童の「学びの保障」を確保するために、端末などのＩＣＴ機器を活用し、オンライン学習を全学年で実施できるようにしてきた。今後は双方向通信の良さを取り入れ、オンライン学習の質を高めていく。

また、教員の資質向上については、全学年研究授業を行い、研鑽を積んできた。また、メンター研修も行ったが、講師等をコロナ禍のため呼べなかったので、今年度は管理職を講師とするなど、工夫して取り組んでいく。

中期目標

【安心・安全な教育の推進】

○規律と秩序のある学校を目指し、お互いの良さに気づき認め合う集団の育成を図る。
また、将来の夢や希望がもてる教育を目指す。

- ・令和7年度学校教育アンケート調査で「学校のきまりのプリントを読んでいますか」という項目で「はい」と回答する保護者の割合を50%以上にする。

(施策1 安全・安心な教育環境の実現)

- ・令和7年度末の児童生活アンケート調査で「クラスの人と力を合わせて係や当番の仕事をしていますか」という項目について「はい」と答える児童の割合を70%以上にする。

(施策2 豊かな心の育成)

- ・令和7年度の全国学力・学習調査における「自分にはよいところがあると思いますか」という項目で「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を令和3年度（62.6）より5%向上させる。

(施策2 豊かな心の育成)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○互いに学び合える環境を構築し、意欲を高めさせ、基礎・基本の学力・体力の定着を確実に目指す。

- ・令和7年度末の児童生活アンケート調査で「国語の学習や算数の学習をすすんでしていますか」という項目で「はい」と回答する児童の割合を85%以上にする。

(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して肯定的に答える児童の割合を令和3年度（68.7）より増加させる。

(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における4教科平均正答率5割以下の児童を、いずれの学年も令和3年度（33.2）より減少させる。

(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

- ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を、令和3年度（男女平均52.9）より1ポイント向上させる。

(施策5 健やかな体の育成)

【学びを支える教育環境の充実】

○ICT機器を活用した学習支援、教員の資質向上および人材の確保、働き方改革の推進、生涯学習の支援、家庭・地域等の連携、協働した教育の推進を目指す。

- ・教員がICT活用を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を85%にする。

(施策6 教育DXの推進)

- ・授業日において学習者用端末を毎日使用した割合を100%にする。

(施策6 教育DXの推進)

- ・教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を50%以上にする。
(※基準は、時間外勤務時間が60時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下)
(施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)
- ・令和7年度末までに、すべての学年で、地域の方々等を招き、または訪問学習の機会を設ける。
(施策8 生涯学習の支援)
- ・令和7年度末までに、小学校学力経年調査における「読書をするのが好き」と肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。
(施策8 生涯学習の支援)
- ・令和7年度末までに、学校教育アンケートにおける保護者の「PTA・学校行事の行事に参加したことがありますか」の肯定的な回答の割合を85%以上にする。
(施策9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安心・安全な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・令和4度末の小学校経年調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- ・令和4度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・令和4度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- ・令和4度末の児童生活アンケートにおいて、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(施策1 安全・安心な教育環境の実現)
- ・令和4度末の小学校学力経年調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
(施策2 豊かな心の育成)
- ・令和4度末の児童生活アンケート調査で「自分にはよいところがあると思いますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
(施策2 豊かな心の育成)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・令和4年度の小学校経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、45%以上にする。
- ・令和4年度の小学校経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比（大阪市）を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント向上させる。

- ・令和4年度末の小学校経年調査において、「外国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。(48.3)
- ・令和4年度末の小学校経年調査において、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を50%以上にする。

学校園の年度目標

- ・令和4年度末の児童生活アンケート調査で「国語の学習や算数の学習をすすんでしていますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

- ・令和4年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して「している（どちらかといえばしている）」と答える児童の割合を令和3年（68.7）より増加させる。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

- ・令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における立ち幅跳びの平均得点を、令和3年度より4ポイント向上させる。

（施策5 健やかな体の育成）

- ・令和4年度末の児童生活アンケート調査で「給食を楽しくおいしく食べていますか。」という項目で肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

（施策5 健やかな体の育成）

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・教員の児童のＩＣＴ活用を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を５０％にする。
- ・全学年、学習者用端末を１週間に１回は使用して授業を行う。
- ・教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を３５％以上にする。
（※基準は、時間外勤務時間が６０時間を超える月数０、かつ、１年間の時間外勤務時間が３６０時間以下）

学校園の年度目標

- ・教員の児童のＩＣＴ活用を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を５０％にする。
（施策６ 教育ＤＸの推進）
- ・全学年、学習者用端末を１週間に１回は使用して授業を行う。
（施策６ 教育ＤＸの推進）
- ・教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を３５％以上にする。
（※基準は、時間外勤務時間が６０時間を超える月数０、かつ、１年間の時間外勤務時間が３６０時間以下）
（施策７ 人材の確保・育成としなやかな組織づくり）
- ・令和７年度末までに、校内調査における「読書が好き」と肯定的に答える児童の割合を８０％以上にする。
（施策８ 生涯学習の支援）
- ・今年度末までに、学校教育アンケートにおける保護者の「ＰＴＡの行事に参加したことがありますか」の肯定的な回答の割合を７０％以上にする。
（施策９ 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）

3 本年度の自己評価結果の総括

--

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【安心・安全な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4度末の小学校経年調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。 ・令和4度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・令和4度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4度末の児童生活アンケートにおいて、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 (施策1 安全・安心な教育環境の実現) ・令和4度末の小学校学力経年調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。 (施策2 豊かな心の育成) ・令和4度末の児童生活アンケート調査で「自分にはよいところがあると思いますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 (施策2 豊かな心の育成) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【施策1 安全・安心な教育環境の実現】

- ・いじめをなくすための標語やスローガンを、児童と共に考えて啓発する。
- ・毎月いじめアンケートを実施し、いじめの早期発見、早期解消に努める。
- ・なかよしフェスタやなわとび集会、月に1回以上のなかよし学年での集会を行う。
- ・計画委員会を中心に「走らないで」キャンペーンを行い、きまりを守ることの大切さについて啓発する。
- ・階段に進行方向の矢印を表示するなど、意思づけを図る。
- ・不登校児童について月1回のスクリーニング会議において情報共有を行うとともに、養護教諭、スクールカウンセラー等と内外の専門的な機関と連携する。

指標

- ・令和4年度末の小学校学力経年調査（3～6年）および児童生活アンケート（1・2年）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前期の結果より後期の結果を5ポイント上げる。
- ・令和4年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。
- ・令和4年度の児童生活アンケートにおいて、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・令和4年度末の児童生活アンケート調査で「廊下・階段では、走らないで正しく歩いていますか」の項目で肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

取組内容②【施策2 豊かな心の育成】

- ・委員会活動で、高学年としての責任感をもたせたり、係活動で、児童自らが学級のために工夫をした活動が行えるよう支援し、成就感を味わわせ自己効力感を高めるようにする。
- ・帰りの会など学級の実態に応じて、児童のがんばりを発表する場を設け、自分の良さに気づくことができるようにする。

指標

- ・令和4年度末の児童生活アンケート調査で「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目で肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- ・令和4年度末の児童生活アンケート調査で「自分に良いところがあると思いますか」の項目で肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①【施策1 安全・安心な教育環境の実現】	<ul style="list-style-type: none">
取組内容②【施策2 豊かな心の育成】	<ul style="list-style-type: none">
後期への改善点	
取組内容①【施策1 安全・安心な教育環境の実現】	<ul style="list-style-type: none">
取組内容②【施策2 豊かな心の成】	<ul style="list-style-type: none">

年度目標	達成 状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の小学校経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、45%以上にする。 ・令和4年度の小学校経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比(大阪市)を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント向上させる。 ・令和4年度末の小学校経年調査において、「外国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。(48.3) ・令和4年度末の小学校経年調査において、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を50%以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度末の児童生活アンケート調査で「国語の学習や算数の学習をすすんでいますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (施策4 誰一人取り残さない学力の向上) ・令和4年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して「している(どちらかといえばしている)」と答える児童の割合を令和3年(68.7)より増加させる。 (施策4 誰一人取り残さない学力の向上) ・令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における立ち幅跳びの平均得点を、令和3年度より4ポイント向上させる。 (施策5 健やかな体の育成) ・令和4年度末の児童生活アンケート調査で「給食を楽しくおいしく食べていますか。」という項目で肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (施策5 健やかな体の育成) 	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	
<p>取組内容①【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の長吉タイム等に、デジタル教材などを使った既習内容のふり返しを行い、基礎基本の学習の定着を図る。 ・研究教科の生活科・総合的な学習の時間を通して、児童が主体的に取り組み、友達と話し合い、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるように授業の改善を図る。 ・C-NET を効果的に活用し、高学年だけでなく中低学年においても本物の英語に触れる機会を設ける。 	

指標

- ・令和4年度末の児童生活アンケート調査で「国語の学習や算数の学習をすすんでしていますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・令和4年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して「している（どちらかといえばしている）」と答える児童の割合を70%以上にする。
- ・C-NETによる授業を高学年は毎週、中学年は1か月に1回以上、低学年は学期に1回以上実施する。
- ・各学年1回以上の授業研究会を行う。

取組内容②【施策5 健やかな体の育成】

- ・跳躍力を向上させる取り組みとして、じゃんけん跳び、ゴム跳び、ハードルを用いたサーキットトレーニングなどを学年に応じて月2回程度実施する。毎朝、教室でできる「かかと上げ下げ運動」を取り入れる。低学年は10回、中学年は20回、高学年は30回行う。
- ・望ましい食習慣を身に付けさせるために、年間2回以上、食に関する指導を行う。
- ・健康な生活習慣を身に付けさせるために「早寝・早起き・朝ごはん」を意識し、実践しようとする態度を育てる。

指標

- ・前期、後期に立ち幅跳びの記録をとり、その結果全学年平均を前期より3cm上げる。
- ・食に関する指導について肯定的な感想を50%以上にする。
- ・令和4年度末の保護者アンケート調査で「家庭では、『早寝・早起き・朝ごはん』をこころがけていますか」という項目で肯定的回答を80%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】	
取組内容②【施策5 健やかな体の育成】	<ul style="list-style-type: none"> ・
後期への改善点	
取組内容①【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】	<ul style="list-style-type: none"> ・
取組内容②【施策5 健やかな体の育成】	<ul style="list-style-type: none"> ・

年度目標	達成 状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の児童のＩＣＴ活用を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を５０％にする。 ・全学年、学習者用端末を１週間に１回は使用して授業を行う。 ・教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を３５％以上にする。 （※基準は、時間外勤務時間が６０時間を超える月数０、かつ、１年間の時間外勤務時間が３６０時間以下） ・今年度末までに、すべての学年で、１回以上地域の方々等を招き、または訪問学習の機会を設ける。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員のＩＣＴ活用を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を５０％にする。 （施策６ 教育ＤＸの推進） ・全学年、学習者用端末を１週間に１回は使用して授業を行う。 （施策６ 教育ＤＸの推進） ・教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を３５％以上にする。 （※基準は、時間外勤務時間が６０時間を超える月数０、かつ、１年間の時間外勤務時間が３６０時間以下） （施策７ 人材の確保・育成としなやかな組織づくり） ・今年度末までに、学校教育アンケートにおける保護者への「ＰＴＡ・学校の行事に参加したことがありますか」の肯定的割合を７０％以上にする。 （施策９ 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進） 	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	
<p>取組内容①【施策６ 教育ＤＸの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ＩＣＴ支援員と協力し、ＩＣＴを活用した授業の工夫を行い、授業力を高めていく。 ・ＩＣＴを活用した研究授業を年２回以上行う。 ・教員のＩＣＴ活用を指導する能力を高めるための研修会を行う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員のＩＣＴ活用を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を５０％にする。 ・全学年、学習者用端末を毎日使用する。 	
<p>取組内容②【施策７ 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員は「Ｍｙゆとりの日」を月２回設定し、月２回以上１７時３０分に退勤できるようにする。 ・メンター研修を年６回以上開催する。 	

指標

- ・「令和５年２月における教員の時間外勤務の状況」の調査で４５時間以下の人数分布を８０％にする。
- ・メンター研修をうけた教員へのアンケートで、「自身の授業が改善したことを実感している」の肯定的な回答を７０％以上にする。

取組内容③【施策８ 生涯学習の支援】

- ・図書館を２学年ずつ、毎週火・金曜日の昼休み開放する。
- ・金曜日は図書館を１日開放する。
- ・「ひらちゃんノート」を活用し、児童が目標を持って、読書活動を行えるようにする。

指標

- ・児童生活アンケートで「自分からすすんで読書をしていますか」の肯定的回答の割合を７２％以上にする。
- ・児童生活アンケートで「昨年より本を読む量が増えた」の肯定的回答の割合を７２％以上にする。

取組内容④【施策９ 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

- ・ＰＴＡ行事、学校行事に家庭や地域を招く行事を学期に１回行う。
- ・ゲストティーチャーや地域の方々等を１学年につき、１回以上を招いて教育活動を行う。

指標

- ・学校教育アンケートにおいて「ＰＴＡや学校の行事に参加したことがありますか」の項目について肯定的な回答を８５％以上にする。
- ・全国学力・学習状況調査におけるアンケートにおいて「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の項目について肯定的な回答を５０％以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①【施策 6 教育 D X の推進】	
取組内容②【施策 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】	・
取組内容③【施策 8 生涯学習の支援】	・
取組内容④【施策 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】	・
後期への改善点	
取組内容①【施策 6 教育 D X の推進】	・
取組内容②【施策 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】	・
取組内容③【施策 8 生涯学習の支援】	・
取組内容④【施策 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】	・